

2025年3月期 第2四半期決算に関するWeb 一斉取材 主なQ&A

※ 当日の質疑応答をそのまま書き起こしたのではなく、当社の判断で簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

[運賃改定]

Q: 運賃改定の申請準備は、順調に進捗しているか。

A: もともと本年秋頃の申請を目指しており、予定どおりのスケジュールで進捗している。改正後の収入原価算定要領に基づき収入・原価を精査中であり、条件を満たせば、速やかに申請していきたい。決算説明資料に記載したとおり、2026年3月の運賃改定実現を目指して進めていく。

[鉄道運輸収入の今期見通し]

Q: 鉄道運輸収入の今後の回復余地について、どう見ているか。

A: 定期収入は、2018年度比82.5%の今期計画に対し、85%程度の実績。出社回帰の傾向の加速を感じており、さらに出社の価値が再認識されれば、もう一段上がる余地もあると考えている。一方、定期外収入(新幹線)は計画対比でやや下振れており、特に東北新幹線の需要がビジネス利用を中心に弱含んでいる。10月は、秋のレジャー需要などにより、上期に比べて好調である。下期は、ビジネス需要の減を埋めるべく、レジャーやインバウンドの需要取り込みに一層注力していく。

[不動産・ホテル事業]

Q: 今期売却した不動産は、外部取得したものか、もともと自社で保有していたものか。売却先はどこか。

A: 上期は社宅跡地の売却が多かった。私募ファンド・私募リートへの売却と外部への売却の両方があるが、前者であれば、売却後も当社が一定の関与をしながら、回転型ビジネスの加速を実現できると考えている。

Q: TAKANAWA GATEWAY CITY のリーシングの進捗は。また、当社のオフィス空室率は市中より低いですが、今期末の TAKANAWA GATEWAY CITY 開業による空室率への影響はあるか。

A: 決算説明資料に記載のとおり、THE LINKPILLAR 1 NORTH にKDDI(株)の入居が決まっているなど、リーシングは順調である。契約ベースではほぼ満床のため、今期末のまちびらきで空室率が大きく上がることはない。

[資本コストや株価を意識した経営]

Q: 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取組み」の次回更新時期は。

A: 社内では、資本コスト等を意識して取締役会等での議論が行われている。次回開示のタイミングは検討するが、年に1回はアップデートしていく。

Q: 決算説明会に社長が登壇する趣旨は。

A: 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取組み」の一環として、社長や常務などマネジメント層が登壇して対話する機会を増やしている。資本市場とのコミュニケーションの活性化につなげていきたい。

以上